

I ガイダンス

2022年度「日本経済」

川端望

担当教員自己紹介

- 氏名:川端 望(かわばた のぞむ)
- 略歴
 - 出身地 仙台市(1964年)
 - 出身中学 仙台市立愛宕中学校
 - 出身高校 宮城県仙台向山高校
 - 出身学部 東北大学経済学部
 - 出身大学院 東北大学大学院経済学研究科
 - 職歴 大阪市立大学経済研究所を経て東北大学大学院経済学研究科へ
 - 学位 博士(経済学)。東北大学より
- 担当ティーチング・アシスタント:銀迪(博士後期課程)

担当科目・研究テーマ

- 担当科目：産業発展論
 - 学部科目：日本経済，産業発展論ゼミ，産業発展論特殊講義，経済学入門A
- 研究テーマ：東アジア諸国・地域の産業発展とイノベーション
 - グローバリゼーション下における鉄鋼業の成熟と発展のダイナミズム
 - ほか，自動車産業，情報サービス産業など
- 研究方法
 - 実態調査に基づくケース・スタディ
 - 定性的研究



韓国・浦項市にて
(2008年)

著作の例

- 川端望『東アジア鉄鋼業の構造とダイナミズム』ミネルヴァ書房, 2005年(博士論文を兼ねる)。
- 大野健一・川端望編著『ベトナムの工業化戦略』日本評論社, 2003年。
- 川端望「ベトナム鉄鋼業における民間企業の勃興」『アジア経営研究』第22号, 2016年。
- Nozomu Kawabata, Development of the Vietnamese Iron and Steel Industry Under International Economic Integration, in Hiromi Shioji, Dev Raj Adhikari, Fumio Yoshino & Takabumi Hayashi eds., *Management for Sustainable and Inclusive Development in a Transforming Asia*, Springer, 2020.
- 川端望・銀迪「中国鉄鋼業における過剰能力削減政策-調整プロセスとしての産業政策-」『アジア経営研究』第27号, 2021年。
- 竹下裕美・川端望「東北地方における自動車部品調達の構造」『赤門マネジメント・レビュー』第12巻第10号, 2013年10月
- 張艶・川端望「大連市におけるソフトウェア・情報サービス産業の形成」『アジア経営研究』第18号, 2012年。



授業の目的

- 現代日本社会において、個人的・社会的な重要事項について選択を行うための基本的教養としての日本経済論を学ぶ。
- 1990年代以後の日本経済を特徴づける低成長の構造を、マクロ経済、産業システム、雇用システムの三つの角度から解説する。そして、世界経済の再編と少子化・高齢化に対応してどのような構造変化が生じているのか、この先にどのような未来が待ち受けているのか、どのような選択肢があり得るのかを学ぶ。

学習の到達目標

- グローバリゼーション下の世界経済の中での日本経済の位置を認識して、今後の課題を世界的な視野からとらえる。
- 日本経済をマクロ的に把握する方法を学び、また実際にその現状を把握する。
- マクロ経済政策のしくみと有効性、その日本経済への作用について経済学的に把握する。
- 日本経済の成長と停滞が市場と政府だけでなく、制度的構造によってもたらされる有様を戦後経済史の視点から歴史的に、また産業システムと雇用システムについて構造的に把握する。
- 日本経済を、資本主義発展の普遍性と日本社会の特殊性を統一した視点から把握する。
- 日本経済の将来を展望し、そこにある選択肢について経済学的に判断する能力を身に付ける。

教材

- 教科書は使用せず，スライド・図表を用いる。
 - Google Classroomからダウンロードできるようにする
 - 上記ページに，パワーポイント形式(pptx)で置く。パワーポイントを持っていない人は，Web上で開いたうえでGoogleスライドに変換して利用することを勧める
- 参考文献は多岐にわたる
 - 次ページで講義全体に関わる文献のみ紹介する
 - 数冊ずつ生協に入荷してもらおう
 - 各論の文献は，その都度スライドで紹介する
 - 教員の見解は，どの参考文献とも全く同じではない

全体に関わる参考文献

・ シラバス記載

No	書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	出版年 Year	ISBN/ISSN	資料種別 Classification
1.	大不平等	ブランコ・ミラヴィッチ	みすず書房	2017	9784622086130	参考書
2.	岩波講座日本経済の歴史 5 現代1	深尾京司・中林真幸ほか編	岩波書店	2018	9784000114059	参考書
3.	岩波講座日本経済の歴史 6 現代2	深尾京司・中林真幸ほか編	岩波書店	2018	9784000114066	参考書
4.	最新日本経済入門〔第6版〕	小峰隆夫・村田啓子	日本評論社	2020	9784535559028	参考書
5.	21世紀の長期停滞論	福田慎一	平凡社	2018	9784582858631	参考書
6.	アベノミクスによろしく	明石順平	集英社インターナショナル	2017	9784797680140	参考書
7.	日本社会のしくみ:雇用・教育・福祉の歴史社会学	小熊英二	講談社	2019	9784065154298	参考書
8.	この経済政策が民主主義を救う	松尾匡	大月書店	2016	9784272140626	参考書
9.	未来の年表	河合雅司	講談社	2017	9784062884310	参考書
10.	日本は『格差社会』になったのか	森口千晶	一橋大学経済研究所	2017		参考書

担当教員による参考情報

- 川端望の研究ノート
 - <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/arekore.htm>
 - リンク先は2種類の個人ブログだが、研究に関連したもののみ公式サイトからリンクを貼っている
- 過去の授業情報
 - <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/jugyoindex.htm>

授業の予定

- 以下の予定であるが学事暦による制限が加わった場合、一部を省略することがある
- I ガイダンス(0.5)
- II 世界経済の潮流と現代日本経済(1.5)→世界経済から日本をとらえる
- III 戦後の日本経済の歩み(3.5)→戦後経済史から現在をとらえる
- IV 低成長の構造とマクロ経済政策(6.5)→日本経済のマクロ的把握
- V 日本産業の投資行動(9)→投資と産業発展の分析
- VI 日本的雇用慣行の変容(7)→消費と社会の再生産に関わる雇用システムの分析
- VII おわりに(1)
- 理解度確認セッション(1)

授業の運営方法(1)

- Google Classroomをプラットフォームとする

—クラスコード: **iocyn43**

- 新型コロナウイルス感染症の流行とそれに対応する本学の方針を踏まえ、さらに地震による講義棟の被災状況を踏まえ、オンデマンド型オンライン講義とする

授業の運営方法(2)

- 受講パターンは、以下の通り
 - クラスルームから講義資料を入手して手元で閲覧可能にする
 - クラスルーム経由で、毎回YouTube上の動画を視聴する
 - 受講確認アンケートとクイズに答える。任意で質問・コメントをする
- クラスルームからYouTube動画へのリンクを貼るので視聴すること
 - オンライン受講者用の受講確認アンケートは、YouTube動画の説明欄からリンクしている

授業の運営方法(3)

- スライドには空白部分がある。講義の際に正解を述べるので、自ら埋めること
 - 「空白には何が入るか」という質問は受け付けないので、動画で確認すること
- 受講確認は、Web上のアンケートによる自己申告とクイズ(オンライン受講の回のみ)によって行う。評価に影響する(後述)
- アンケートの際には、講義への質問・意見を述べることができる。ボーナス加点の対象となる(後述)
 - 全体の参考になる質問・意見は、十分な匿名化を行った上で内容を受講者全員で共有する

授業の運営方法(4)

- オフィスアワーの代わりにメールでの質問を常時受け付ける
- また、各種個別相談にもGoogle Meetでのオンライン面談かメールで応じる。オンライン面談はメールで時間調整されたい

成績評価について

- 理解度確認セッション・受講確認・アンケート記入で評価する
- 配点
 - 理解度確認セッション：70点
 - オンライン方式で出題されたものを，時間内に解答する方式
 - 受講確認点：30点（詳細後述）
 - アンケートでの質問・意見記入：上記100点満点の枠外で，記入1回につき最大2点ボーナス加点（詳細後述）
- 履修放棄について
 - 履修放棄は認めない。履修登録者はすべて採点する

受講確認アンケートについて(1)

- オンライン講義の受講確認アンケートを以下の方式で行う
 - 授業日の3暦日後の日本時間午後10時までに視聴して、Google Formのアンケートで学籍番号、氏名、受講の事実などを申告すること。以後は、動画は視聴できるが申告できなくなる。
 - 受講確認アンケートへのリンクは、YouTube上の講義動画の説明欄にある。
 - 期限までに視聴することを困難にするやむを得ない理由がある場合は、メールで連絡して欲しい。個別に事情を考慮する
- アンケートには受講申告とクイズが含まれる。申告して、かつクイズに正解すると1回につき受講確認点1点を獲得できる
 - 代理申告は認めない。メールアドレスを自動収集するので、本人メアドでなければすぐに判明する
 - クイズは動画を見ていればわかるものを出題する

受講確認アンケートについて(2)

- 受講確認アンケートによる平常点についての補足
 - 動画講義回数=アンケート回数が30回に満たない時は, 上記による獲得点数に加え, 以下の式により残余点数を一律に付与する
 - 残余点数=30-a (a:動画講義回数)
- 任意で質問・意見を記入できる回を設ける。以下の条件を満たすと100点満点の枠外で1回につき最大2点のボーナスを獲得できる。この方法で獲得できるのは, 講義期間中を通して16点を上限とする
 - 一度は自分で調べてから質問すること
 - 個人情報に関わっておらず学習上有益な質問・意見や回答は, 匿名化した上でClassroom上の共有スプレッドシートで共有する。昨年度実績から見て, 過半数は共有することになる

受講に際しての留意事項

- 以下は諸君が身に着けていることを前提に話す
 - 高校の政治・経済用語レベルの用語
 - いちいち説明しなくても定義レベルでは理解しておくことが必要
 - 経済学入門AorB, 経営学入門レベルの知識
 - この水準で自分がついていけないと思ったら, 参考文献を熟読すること
 - 数学の知識はほぼ必要ない
- どの問題では何を読んだらよいかは, メールや面談での相談に応じる。

受講に際しての留意事項

- スライドにすべてのことが書かれているわけではない
- スライドは思考のきっかけに過ぎない。題目, ポイント, 結論を強調するもの。とても内容すべてを表現できない。スライドだけ持っ
ていても十分には理解できない
- だから講義を聞いてノートをとることが大事
 - 自ら思考を整理する
 - 教員の見解を解釈する。自分で「これは, つまりこういうこと」と言い換えられないと, 自分で使えるようにならない
- スライドをダウンロード・加工し, 書き込みやすい自己流ノートにするとよい
 - そうしやすいように, パワーポイント形式でアップする

予習と復習について

- オンライン講義の特性を踏まえ、まずは「調べながら視聴する」ことを勧める
 - わからない言葉や出来事があれば、さしあたり動画を止めて検索し、調べることを勧める
- 復習する方が、より重要
 - 内容量が多いので、丁寧に、必要に応じて繰り返し視聴してほしい

連絡・質問について(1)

- 東北大メールを常時利用できるようにし、またチェックすること。パスワードを忘れるなどのトラブルについては、ただちに担当部署に連絡して対処すること
 - 大学アドレスのメールを確認しなかったりパスワードを忘れてしまった場合の不都合は、履修者の自己責任である
- 各種連絡は以下へ
 - アドレス: nozomu.kawabata.b1#tohoku.ac.jp (#を@に変えてください)
- 履修手続きや理解度確認セッションの追試験に関わる質問は、教員でなく経済学部教務係へ
- 本講義に関わる公式通知は、クラスルームを用いる。学部のリアル掲示板は用いない
 - 情報を出さないために周知されないことは、教員の責任である
 - 情報を得ることは履修者の自己責任である
 - Google Classroomが機能しないときは、経済学部の掲示板(キャンパスコミュニティの後継サービス)または川端ホームページを閲覧されたい

連絡・質問について(2)

- 研究室: 経済学研究科棟618号室
 - ただし, 感染防止のため, 研究室でのリアル面談は行わない。必要に応じて演習室・会議室で行う。
- オンライン面談: 事前にメール予約の上で応じる
- 連絡マナー(就職活動でも同じ)
 - 電話: 自分がかけた場合は, 先に名乗ること。
 - メール: メール本文内で必ず名乗ること。メールは手紙の電子化であり, チャットは会話の電子化なので, メールの方がそれなりにフォーマルであることに注意

他科目との関連性について

- この講義では、理論の現実に対する説明力、とくに日本経済、日本企業の特徴に対する説明力を重視する。したがって、もっとも重要なことは、新聞やニュースを毎日チェックし、現実の経済事情に強くなっていることである。
- IV章については、マクロ経済学のごくごく初歩的な知識を持っていることが望ましい。
- III章については、戦後日本史のごくごく初歩的な知識を持っていることが望ましい。
- V章については企業論、産業組織論、経営戦略論を併せて学ぶことが望ましい。
- VI章については、労働問題、人事管理論を合わせて学ぶことが望ましい。

Webで文献・経済資料を探す

- 東北大学附属図書館(CiNii検索機能もあり)
<http://www.library.tohoku.ac.jp/>
- 国立情報学研究所CiNii(単行書も雑誌論文も検索可能, ネットにPDFがある論文に対してリンクがある)
<http://ci.nii.ac.jp/>
- 国会図書館NDLオンライン(カバレッジが広い。単行書も雑誌論文も検索可能)
<https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/>
- Google Scholar(全世界の学術文献を検索可能)
<https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>
- 検索可能なWeb書店(各種あり)(単行本検索可能)
 - Amazon.co.jp
<http://www.amazon.co.jp/>
 - 大学生協のオンライン書籍注文サイト
<https://online.univ.coop/book/>

注意

- 新型コロナウイルス感染症の動向により、学事歴や講義方法に変更を余儀なくされることがあります。